

第4章

計画の基本的な考え方

1 基本理念

少子化の進行に伴う子育て環境は、女性の社会参加に伴う共働き世帯の増加などをはじめ、地域のつながりの希薄化を背景とし、子育てに対する負担感や孤独感を感じる親が増えてきており、子どもの健全な育成に大きな影響を与えています。そのような中で、子どもが健やかに成長できるよう、家庭や地域、学校、園（所）などが子どもの視点に立ち、子どもたちの権利が十分に尊重される子育て社会をつくりあげていくことが求められています。

このような状況に対応していくため、本計画では、これまでに推進してきた「子らの笑顔 みんなの宝 子育て応援プラン ～交野市次世代育成支援行動計画（後期計画）～」の基本理念、基本視点を継承し、地域全体で子どもや子育て家庭への理解を深め支援し、安全で安心して子育てができる環境を整えるとともに、すべての子どもが心豊かに育ち、併せて、保護者が喜びや生きがいを感じながら子育てできるまちをめざします。

子どもは、未来のまちの担い手です。

次代の主役である子どもの育ち、子育てを地域全体であたたかく応援し見守っていくことは、“かたの”の元気、活力へとつながっていきます。未来に、元気、笑顔があふれるまちづくりをめざして、下記を計画の基本理念として定めます。

子どもいっぱい 元気な“かたの”
～ 子育て 地域との和（なごみ）～

2 基本目標

本計画では、基本理念を実現するための施策の柱として、以下の3つの基本目標を掲げ、子ども・子育て支援を進めます。

【基本目標1】

すべての子育て家庭を支える まちづくり

核家族化の進行と地域社会の連帯感の希薄により、育児のための知識や技術が親から子へ、または地域住民同士の間で伝えられにくくなり、若い親は相談相手もないまま子育てに取り組まなければならない、育児をする母親が孤立してしまい、育児不安やストレスに悩む例が増えており、そうした育児不安を背景に児童虐待などが大きな社会問題を招いています。

安心とゆとりをもって子育てを楽しむためには、子育てについて学ぶとともに、子育て支援サービスなどの情報を活用し、それぞれにあったサービスを上手く活用することが必要となります。

すべての子どもと親へ、妊娠から出産、育児、教育と切れ目のない子育て支援を行うことで、安心し、楽しみながら子育てができるまちづくりを推進します。

【基本目標2】

子どもの育ちを支える まちづくり

自己の確立が未発達な子どもが多いといわれている昨今、子どもが自立心をもって健全に育成されることが重要となってきています。そのために、子どもの生活の主体である家庭、学校、地域が連携して、それぞれの力を最大限に発揮して子どもの教育の活性化を図ることが重要です。

次代を担う子どもたちが、自らの意思で「生きる力」を身につけ、まちの活力と未来を支える人材としての「情（こころ）」を育める、まちづくりを推進します。

【基本目標3】

地域ぐるみの子育ち・子育て支援が豊かな まちづくり

地域の支え合い機能が希薄化するなか、すべての家庭の子育てと子育ちを地域全体として支えていくため、「地域の子どもは地域で育てる」という地域の子育て・子育ちに対する意識の向上を図り、地域全体で子どもの健全な成長を見守り、子育て家庭の支援を図ることが重要です。

子育て・子育ちに関わる多様な人材、組織などの社会資源が効果的に連携できるよう子育て支援のネットワークを強化し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。

3 施策の体系

【子らの笑顔、みんなの宝 “かたの”子育て応援プラン
 ～交野市次世代育成支援行動計画(後期計画)～ を引き継いだ施策展開】

☆子どもたち自身の“子育て”の視点 ☆子育てをする人・家庭の“子育て”視点 ☆地域の“和”の視点



